

第37回生命科学先端研究センター 学術セミナー

日時：平成20年2月22日(金) 午後5時から

場所：杉谷キャンパス共同利用研究棟6階 会議室

講師：高山光男 先生（横浜市立大学大学院国際総合科学研究科教授）

演題：「プロテオーム解析を支えるソフトイオン化質量分析」

内容

現代ソフトイオン化法であるマトリックス支援レーザー脱離イオン化（MALDI）とエレクトロスプレーイオン化（ESI）を使い、翻訳後修飾解析や各種病体のマーカータンパク質の探索などへの応用が盛んである。実際の解析では、タンパク質ではなく断片ペプチドのイオンシグナルを高感度で精度よく得ることが重要であり、これはプロテオーム解析の基幹技術である質量分析学に課せられた課題でもある。

本セミナーでは、アミノ酸とペプチドのソフトイオン化に注目し、検出感度と直接関連するイオン収量を決定する因子について述べる。また、イオン収量を増大させるための工夫についても述べる。

※ 本セミナーは、大学院の単位認定の対象となります。多数の教職員・学生の来聴を歓迎します。

◎問い合わせ先

五味知治（分子・構造解析施設長）

電話：434-7175

メール：tgomi@cts.u-toyama.ac.jp